

令和8年度 定時社員総会 議事録

日時 令和8年5月9日(土)15時30分～

場所 北海きたえーる研修室

出席者 生島典明、黒田謙二、渋谷研一、田中昌幸、印藤智一、川崎尚子、家近昭彦、坂本雅春、石崎賢、上總向貴、藤盛竜太、平野龍一、高橋克徳、須田正毅、伊山和宏、木村豊、千葉三郎、川口智将、田中淳、村上仁哉、本川朋一、西尾亮彦、高田祐貴、宇野要、棟本直樹、柴田一徳、中川裕行、伊藤学、鈴木和彦、松野清佳、阿部豊、相澤智、佐見洋治、多田吉宏、室谷祐子、山口隆義、大門正人、倉豊彦、黒澤久里子、藤原啓子(議事録)

・開会

社員 31 名中 23 名の出席があり定足数に達していることを報告

・会長挨拶

少し前になりますが、前会長の近藤龍夫がお亡くなりになりました。皆様と共にご冥福をお祈りしたいと思います。本日の総会、一般社団法人になってから本格的な始動となり、資料の書式等も変わっている。今までの反省も含め新たな取り組みを進めていきたいと考えます。

・議長選出

小樽協会 千葉社員

・議事録署名人選出

小樽協会 千葉社員、札幌協会 田中社員、岩見沢協会 本川社員

1 報告

(1)R8年度運営基本方針

印藤理事長より 承認

(2)R8年度事業計画について

□管理運営本部

・総務委員会 坂本総務委員長

執行役員会5月9日、2月6日、定時社員総会5月9日、意見交換会12月5日、理事会5月9日、9月12日、12月5日、3月6日を予定。今年度法人として決算を初めて行ったが、年度末の大会後から決算までの期間が短く、公認会計士との調整、監査、社員総会までの日程が大変厳しいため、来年度は5月連休明けに監査、定期社員総会については5月末から6月初めに行いたい。会計施行状況の理事会報告を年2回4～9月期を12月5日、4～3月期を令和9年5月15日に報告予定。

・事業運営委員会 (代理)坂本総務委員長

今年度はヴォレアス北海道と北海道イエロースターズが SV リーグ、アルテミス北海道が新 V リ

ーグでの参加となるが、スムーズなホームゲームの運営ができるよう、業務委託契約等の内容をチームと共に検討していきたい。

□競技運営本部

・競技委員会 石崎委員長より

法人化記念ヴィンテージ大会は継続開催する。また、高校3大会 日程・出場枠について後ほど提案。競技委員研修の拡大、MRS 利用拡大のため大会申し込みを推進する。

・審判委員会 上総委員長より

若手の発掘及び育成を図るため 基礎講座を全道各地での開催を計画。

□強化普及本部

・強化委員会 藤盛副委員長より

資料記載通り、中学生、高校生、成年、ビーチバレーボールの各強化事業に取り組んでいく。

・普及委員会 倉主事より

第46回北海道中学選抜優勝大会を先日芦別市・富良野市にて実施した。クラブチームの参加が増加し、女子はクラブチーム(HOPES)が初優勝。地区対抗北海道優秀選手選抜大会(3月実施)は今の形での実施は今年度が最後になる予定。次年度以降は道内4ブロックに分けて1~2月に実施し、ブロック代表で2月中に実施予定。

・指導者育成委員会 (代理)家近強化普及本部長より

資料記載通りであるが、今年度コーチ I 資格取得講習会を私学連盟主催で8月22日~23日に実施予定。

□渉外・企画担当理事 平野理事より

コンセプト「つなげ、そのさきへ」 バレーボールは一人では成立しない 一球をつなぎ 意志をつなぎ 時間をつなぐスポーツである 北海道バレーボール協会は競技を支えるだけでなく 世代と世代 地域と地域 そのすべてをつなぐ存在である その連続が人を動かし 地域を動かし 北海道を元気にしていくというメッセージをこめたデザインのバックボードの作成した。

質疑 質)中学校部活の地域展開について 普及委員会が押さえている情報があれば教えていただきたい。地域展開について地区で取り組んでいて任せていただいていたか。

回)クラブチームが増えていることは間違いがない。中学校区分の事業が4つあるがその中でクラブチームがどのような参加体制になるかについて話をさせていただいた。

質)来年以降の MRS 登録について 地域クラブは文科の指示に従っているといわれていて自治体をまたいでいてもいい、合同、地域連携等、様々な形があるがそれでいいか皆さんで探っていけたらと思う。

回)地域クラブが中体連に出るためには、各地区の市町村の中体連事務局に申し込みをして承認されれば出られるとなっていたが、承認が各市町村になったので市町村が認めたチームならば出られることになる。各地区の専門委員長の数と行政の区分が合わないため関わるできない。行政区分をまたがって参加できるかは、3月までではっきりとした答えはなかった。そうしないとバレーボールができない子供たちもいると思うので、各地の教育委員会が協力しチームをつくり参加の道をつくってほしい。先進

的なのは北見地区ではないか。中体連が関われるところが少なくなっている。SV、ヤングは中体連参加はできない。地域クラブ、中学校までになる。

質)個人で登録する生徒について

回)今年度は複数登録可でヤングは出られる。来年度は一人1MRS、チームも1つ。

質)SV所属選手はJOCに選ばれるのか。

回)JOCからは明確な答えはまだ5月末の会議の結果はお伝えしたい。

→後日追加…「今年度のJOCの出場資格にカテゴリーの制限はありません」

質)コーチI取得講習会 ヤング主催で8月1,2日 遠軽町で実施

(3)令和8年度一般会計及び特別会計収支予算 坂本総務委員長より

2月の意見交換会での意見要望、令和8年度運営基本方針に掲げる、強化・普及、指導者・審判員・運営役員の発掘・育成に関する取組を着実に進めるための予算編成に努めた。

3月の理事会で議決いただいた内容の報告となる。

一般会計の収入の部は非収益会計 92,840,000 円、収益会計 8,293,000 円の合計 101,133,000 円、支出の部は非収益会計 92,124,000 円、収益会計 9,009,000 円の合計 101,133,000 円。特別会計の収入の部は非収益会計のみ 22,982,000 円、支出の部は非収益会計のみ 1,950,000 円となり、収支差引 21,032,000 円となる。

質問なし 承認

(4)令和8年度一般会計収支補正予算(第1号)訂正版(差し替え)にて坂本総務委員長より

今次第一号補正は、各地区協会や加盟団体からいただいたご意見等を踏まえた組織基盤強化に係る支援を行うために措置するもので、本日の第1回理事会で議決を得たものの報告となる。

収入の部では、令和7年度決算に伴うSV/Vリーグに係る受託料、ホームゲームスタッフ旅費立替戻入金を売掛金として含んだ前期繰越金が増額したこと、JVAからの組織強化に係る交付金として当初予算に計上していた都道府県助成金から交付金に科目変更する他、JVAから各ブロック交付金として追加交付されることによる補正である。

支出の部では、各地区協会や加盟団体から御意見のあった、担い手不足や役員育成等に係る、組織基盤の強化が喫緊の課題であることを踏まえ、今年度に限り、33の加盟団体に対し10万円ずつを交付するため、交付金に330万円を計上する。

◆質疑 質)この交付金について 使い道や収支報告書等は必要か。

回)収支報告書等は求めない。

(5) SV・Vリーグ特別委員会設置要綱の制定について 坂本総務委員長より

3月7日開催の第4回理事会において議決を得ている。当協会と道内SV/Vリーグチームが連携し、2026・27シーズンに向け、チームが道内開催するホームゲームを円滑に運営するため、特別委員会を設置することを目的として制定した。

2 議案

(1) 令和7年度 事業報告(案)

一般社団法人として社員総会での承認を必要とするため事業報告が先となっているが、理事会でも御意見をいただいたので、次年度以降はわかりやすい形、順序を検討する。

(坂本総務委員長)

□管理運営本部

・総務委員会 坂本総務委員長

資料記載の計画通り、執行役員会、社員総会、理事会、理事会準備会を開催した。倫理委員会に関わって、コンプライアンス規定違反の防止はもちろんであるが、起きてしまった場合はできるだけ早く報告をお願いしたい。

・事業運営委員会(代理)坂本総務委員長

資料記載の通り、実施した。

□競技運営本部

・競技委員会 石崎競技委員長

資料記載の通り、実施した。

・審判委員会 上總審判委員長

資料記載の通り、実施した。8月に大阪で開催したB級キャンプに札幌協会中津川氏、武藤氏、釧路協会山本氏の3名を派遣し、この3名が今年度A級審査会受講予定。

□強化普及本部

・強化委員会 藤盛強化副委員長

資料記載の通り、実施した。

・普及委員会 倉普及委員会主事

資料記載の通り、実施した。

・指導者育成委員会 (代理)家近強化普及本部長

資料記載の通り、実施した。

○渉外・企画担当理事

・資料記載の通り、実施した。

質問なし 賛成多数にて可決

(2) 令和7年度 一般会計・特別会計決算(案)

・法人設立後初めての決算となるが、公認会計士の指導のもと、これまでの決算手法とは異なる、1年間の利益・損失を計算する法人決算の手法となる。

①非収益会計計算書類～「貸借対照表」「損益計算書」「販売費及び一般管理費内訳書」

「財産目録」の内容について説明。当期の純利益金額は合計 7,344,958 円の黒字決算とな

ぎているものがほとんどのため、税理士と相談の上、次年度、財産目録上の処分を行う予定。

②収益会計計算書類～「貸借対照表」「損益計算書」の内容について説明。当期純利益金額は、4,641,271 円の黒字決算となった。

③特別会計計算書類～「貸借対照表」「損益計算書」の内容について説明。当期純利益金額は、21,706,835 円となった。

これまでの A3 判で作成されていた各種事業の収支決算については、法人の会計決算としては必須のものではないため廃止としたが、理事会でわかりにくいという意見もいただいているので、次年度に向けてどうしていくべきか、公認会計士と検討する。

・記載のとおり、適正に実施されことを報告。(須田監事)

質問なし 賛成多数にて可決

3 その他

特になし

議長退任

理事長より

配付資料の中に、旭川で行われた新人大会で行った取組の一例が入っている。複数の地区、複数の加盟団体で今後のモデルケースとして提案させていただいた。本日は時間がないので、これから各地区団体でつながり、進めていただきたい。

議事録署名人

議長

千葉 三郎

議事録署名人

松嶋 田中 淳

議事録署名人

岩見沢 本川 朋一